

第1回京田辺市総合計画審議会 議事録

日時：令和5年5月25日（木）午後1時30分～2時50分

会場：京田辺市庁舎 305会議室

出席者：（委員）谷口委員、野田委員、米田委員、日下委員、青木（和）委員、青木（二）委員、松本委員、川嶋委員、山際委員、坂本委員、岡崎委員、鈴木委員、田宮委員、寺西委員、渋谷委員、畠山委員、高橋委員、井上委員、村田委員、眞部委員、大崎委員、梅澤委員

（本市）上村市長、辻村副市長、事務局（池田企画政策部長等）

1 開会

2 市長あいさつ

3 委嘱状交付

4 会長・副会長の選出…会長に谷口委員、副会長に野田委員を選出

5 会長あいさつ

6 諮問

7 審議

- （1）審議会の公開について…原則として公開することに
- （2）第4次京田辺市総合計画『中期まちづくりプラン』策定方針について
- （3）第4次京田辺市総合計画基本構想について
- （4）社会潮流と本市が抱える主な課題について

事務局：資料2「第4次京田辺市総合計画『中期まちづくりプラン』策定方針」、資料3「第4次京田辺市総合計画基本構想」について説明

事務局：資料4「社会潮流と本市が抱える主な課題」について説明

会長：事務局説明について不明な点など質問があれば。

委員：文化庁が京都に来たことに関して一切触れていなかったが、文化庁が京都に来たことで、何かの影響や恩恵はないのか。

事務局：この春から文化庁が京都府庁の隣に移転してきた。文化庁が京都府に来て、具体的に京田辺市だけでなく京都府下全域にこのインパクトを活かそうと、現在、府

の担当課において府域全域を対象とした事業の検討をされていると聞いている。この計画の前段に入るかどうかは別にして、文化事業の分野別計画の中には、そのような関連事業が入ってくると考えている。

会長：文化・教育は一つの柱になっているので、ひとつよろしくお願ひする。

委員：p 14 「5都市・生活基盤・産業」④「バス事業者に対し、路線維持と収益回復に向けた支援が求められ」とあり、実際にバスに乗ったことがないのでよくわからないが、コロナ禍でバス利用はかなり低下したものの、コロナ後になりある程度生活自体が通常モードに戻ってきている中でも、バス事業にスポットを当てて対応していくということは、市民の足であるバスの運営が今の状況では厳しくなっているという認識なのか。

事務局：コロナで特に打撃を受けたということもあるが、本市のバス路線は基本的に市内の全集落に通じていて、今後働き方改革などの中で、乗務員の確保が厳しくなると予想もされている。いったん途切れた路線は二度と戻らないと言われているので、本市で別途もっている公共交通の審議会の状況によって、路線が廃止されることがないよう、どのような取組みが必要なのかは継続して考えていかなければならぬと考えている。

資料 3 の p 6 に記載された将来都市構造では、北部、中部、南部の 3 つの拠点を南北に鉄道（JR・近鉄）で結び、各エリア内の東西移動でバスのネットワークを想定している。本市内の東西方向の移動を将来的にも確保する上でもバス路線は大切に維持していかなければならないという認識のもとに、この課題をしっかりと書いている。

委員：人口はあと 10 年ほど増加していく。住む人が増えている中で、バス利用は減ってきてているという認識なのか。

事務局：やはりバス交通は普段車に乗ることができない方、お年寄りや小さな子を連れた方にとっては、大切な足になるとを考えている。人口は増えているけれど、そういう方の足の確保はやっていかなければならないという認識で取り組みを進めている。

委員：4 年前に基本構想を策定されたときに、京田辺市は農業人口が 10 年先には 50% くらいになるのではないか、あるいはもっと減る可能性があるという話をしていたが、今現在では、それ以上に進んでいるのではないか。「緑豊か」で健康な文化「田園都市」と謳いつつ、農業のことはここにも基本構想にもほとんど書かれていないので、農業継続や振興への施策を盛り込む必要があるのではないか。

事務局：新規農業だけでなく、特に山間部ではなかなか続けることは難しい。具体的な分野別計画において、農業部門で本市としてこの 4 年間にどのような対策・事業をするのかを出していきたいと考えている。

委員：私は、農業政策を「田園都市」のみとではなく、「健康」と結びつけて出したらい

いと思う。基本構想 P18 に「いきいき健康で明るいまち」と書いてあり、健康の維持を社会保障と結びつけているのかとは思うが、私には理解できない。社会潮流の p 12 「3 健康・福祉」とあるが、ここでも「食糧と健康」ということが抜けているのではないかと思う。健康と食糧生産がとても大切であるというあたりで、農業政策を打ち出していったらいいと思う。

事務局：健康・福祉には「食」の分野も含まれている。記載が足りないというご指摘があったので検討したい。

委 員：「食」は「緑豊か」や「田園都市」とはなかなか結び付きにくいと思うので、健康と結びつけてもらいたい。

事務局：審議会には食生活改善推進員会長にも来ていただいている。「食」が大事だということはよくわかっているので、計画の方に入れていくように考える。

委 員：前回にもいろいろ議論があったと思うが、ゾーニングについて、南部・北部・中部のゾーンに分けてそれが前提となって計画されていると思うが、私が住んでいる大住地区などはどこのゾーンなのか、もうひとつわからない。また、大住駅前の再開発を何とかしたいという考えだが、そこが全く飛んでしまっている。そのあたりをもう少し細かく、これから論議の中でうたっていただきたいと思う。

事務局：基本構想 p 10 に北部・中部・南部とゾーン分けしている。これは 30 年前の総合計画から、本市は南北に長いので北部・中部・南部に分けている。もともとは昔の村（合併前の旧村）単位で、北部は大庄村、中部は田辺町、草内村、南部は普賢寺村、三山木村のくくりにしている。厳密な現在の境界は難しくなるが、ゾーン分けは旧村のエリア分けと考えている。それぞれの詳しい都市計画的なまちづくりや今後の土地利用については、基本構想というよりは、その下にある都市計画マスタープランの具体的な枠組みに基づいて書いていくことになっている。基本構想では大まかなゾーニングをしていると、ご理解いただきたい。

委 員：総合計画の中に、旧村地域の対策が都市計画的なものが何もないと思う。私は三山木に住んでいるが、精華町と三山木の境界のあたりは 25 年間、何も変わっていない状況だと思う。これに限らず旧村の旧集落は、どこも同じような状況が目立つ。新しく開発された所は道も広くなり歩道もついているが、旧村地域の対策をどのようにしていくのか。

事務局：どうしても北部・中部・南部それぞれの駅前中心に、駅前広場の整備や商業施設の立地が進み、そこにスポットが当たって、良くなつて見えがちになっていると思う。まちづくりは、駅前を拠点としたコンパクトシティを目指して整備している。今後、旧集落や前から開発された所は、空家や建て替えなど住宅施策が課題になってくると考えるが、道が狭いことがネックになるのであれば、そこを広げていくという対策は一つの案だと考えている。今後、中心部分とそうでない所は色分けして進め方を考えいかなければならないと考えている。

委 員：特に旧集落は道が狭い。市が率先してまず道を広げないと発展していかないの

で、積極的にやっていただきたい。

委 員：今の話はその通りだと思う。都市計画の細かい話は市でやっていると思うが、その前段の前段としてこの総合計画があると思うので、きちんと総合計画の中でも今言われたようなことを細かく協議してほしい。都市計画の中で細かい話はやつたらしいという話にはならないと思う。旧村は活気を失っているとよく言われる。それをどうしたらいいのかの構想になるようにしてほしい。

事務局：今後、分野ごとの計画に具体的な取組を書いていかなければならない。もう少し後の会議になると思うが、そこでしっかりとご意見をいただき、計画をつくっていきたいと考えている。

委 員：計画を立てた時には、その成果を確認することになるが、その時にビジョンに掲げられている、「緑豊かで健康な田園都市」ができているということを評価することになると思う。「緑豊か」は先ほども議論になっていたように「緑豊かな自然が生かされている」イメージがなんとなくできるが、「健康」の定義は色々なものがある。また、文化田園都市をつくることによってどのような健康が実現されるのか、教えてもらいたい。

事務局：計画を立ててそのままでは、何のために計画を立てているのかわからないことになる。前期まちづくりプランでは、市長マニフェストに連動した重点プロジェクトで、プロジェクトごとに成果指標を掲げており、この指標については毎年度公表している。なお、次の第2回会議では重点プロジェクトの評価をお示しする。
健康については、重点プロジェクトⅢ「だれもが安心して暮らし続けられる支え合いづくり」に含まれる。この成果指標は前期まちづくりプランの指標だが、次期の中期まちづくりプランにおいては、先ほどの「食」にも取り組むとすれば、そのような成果指標も入れるというようなことを議論していただきたいと考えている。

委 員：タイトル的なものは市民に届けるものだと思うので、「緑豊か」と「健康」がどういうものか、目に見える言葉で市民にメッセージになるかと思い意見を出した。

会 長：ご意見、ご質問がもうないようであれば、本日の審議は終了させていただく。

今日は第1回目ということで、委員の皆さんとの顔合わせと、これから審議を進める総合計画の策定方針の確認を行った。次回から本格的な審議が始まることになるので、皆様のご協力をよろしくお願ひする。

8 その他（今後のスケジュールについて）

9 副市長あいさつ

10 閉 会